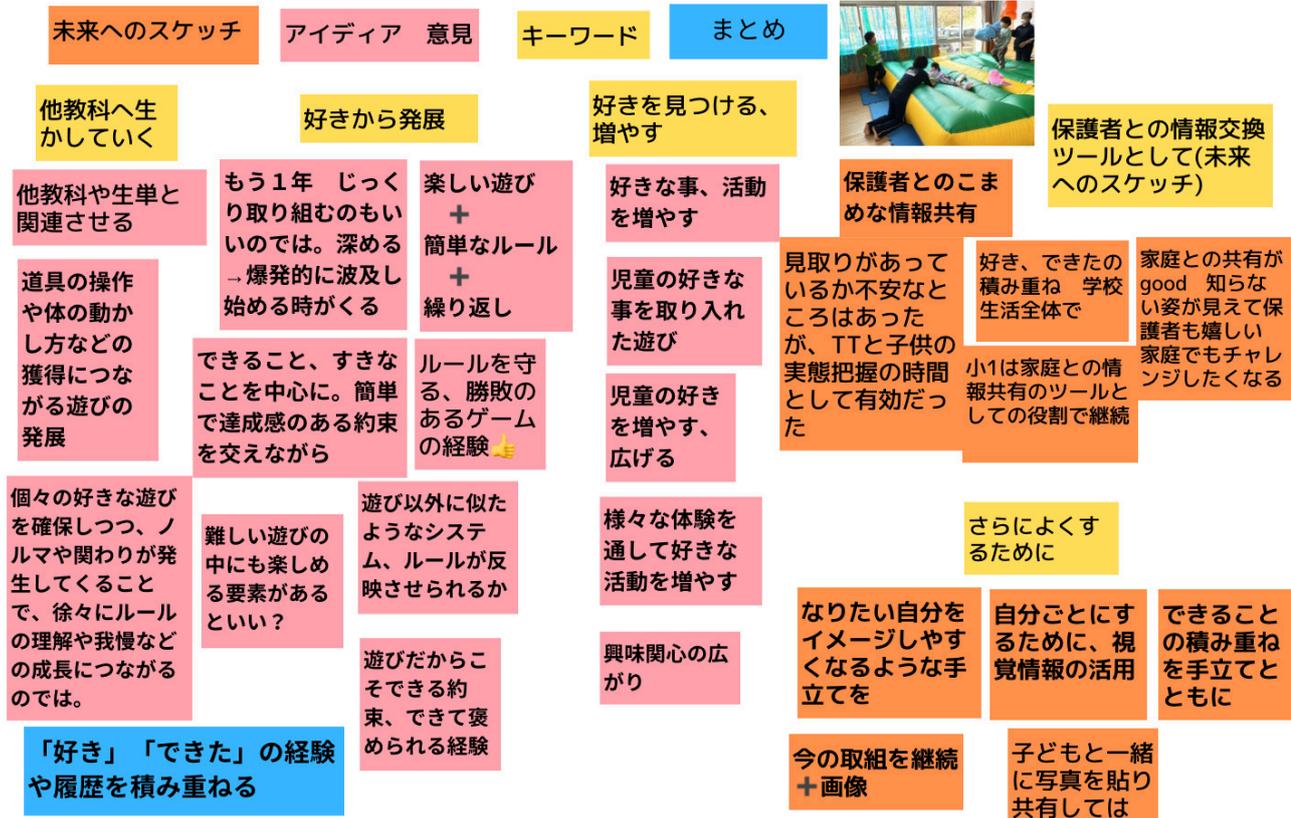




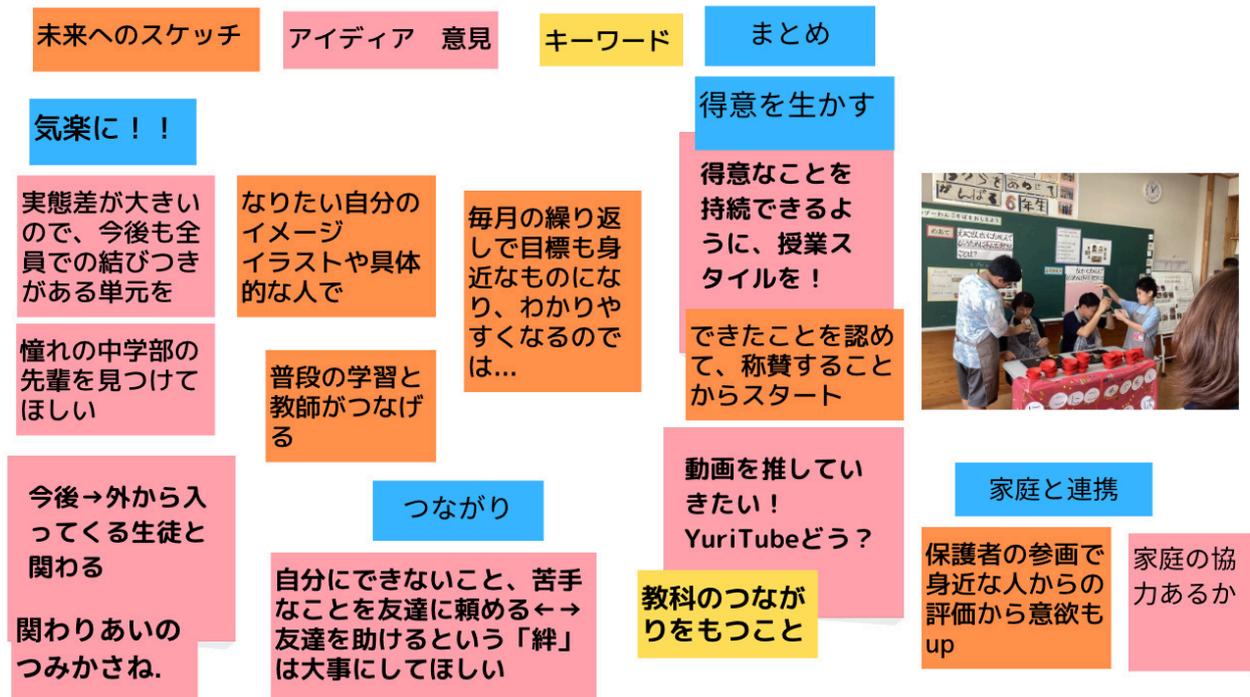
授業デザインミーティングから

冬休み中に3回目の授業デザインミーティングが行われました。今回は、授業内容の評価や児童生徒の変容、「未来へのスケッチ」の活用、来年度への引継事項を中心について話し合い、他学部からの視点や意見、情報交換をすることができました。今回は6つのグループの内容をお伝えします。

小学部1年 遊びの指導から



小学部6年 生活単元学習の授業から



中学部2年 職業・家庭科から

未来へのスケッチ アイディア意見 キーワード 話合いのまとめ

感謝されることの積み重ねが有効 子供同士の関係 教え合いもあった

授業でやったことが生活につながった 何のために行うかわかることが意欲になった

お願いから始まった授業 体験的活動有効 今後別の飲食店に行く

もっと将来につなげたい

小学部 スケッチの目標のイメージがもちにくい。 中学部の先輩を見る機会が欲しい

できたこと→家庭でも

授業でやっていることが将来につながる →スケッチの目標になる



バンダナの巻き方 髪出していたが... ゆずれないポイント



中学部 保健体育科から

話合いのまとめ 未来へのスケッチ アイディア意見 授業について キーワード

生徒の思い 勝ちたい・優勝したい →スコアに注目した取り組み

未来へのスケッチに書いていることと授業の繋がりが弱い時がある。

体力的な差が大きかった。全員が満足するような体育の授業作りについて

勝負にこだわるだけでなく、楽しさを

体トレの取り組み みんなが頑張れるようにしたい

体育に未来のスケッチを活用するのは難しい? →体力づくり、健康は基本

実態差のある学習集団 それぞれの運動量の確保

経験を重ねる、楽しさを感じる

教材研究と教師の意識

こどもとの対話、ききとりの大切さ、担任の意識

体トレ、体育で体力をつけるのは全ての基本 → 個々の願いにつながる

体トレのモチベーション 成果が見えるように 体トレにも楽しみが必要

動画の活用 ゲーム形式 動くことが楽しくなるような仕掛け

面談での聞き取りを大切に 子供との対話




子どもの思いを働く力、健康、余暇などにおろして可視化

担任間の情報共有 子供の思いの聞き取り 教師側の価値・意味付け



未来へのスケッチ

アイディア 意見

キーワード

まとめ

アイディア意見

PDCAのサイクルが出来た。他のことにも繋がる。

称賛するポイントの共有。そのタイミング。

3学年を見通した単元構成

どこまでも生徒のやりたい！を基本に展開

繰り返しでやり方等が分かり、自分の意見を出すことが出来ると感じた。

達成感も反省もある学習

かかわりから学び、目的を達成する

一点突破。全面展開。出来ること、得意なことをきっかけにして多様な展開を継続する。

未来へのスケッチ

スケッチ自体もちろん学年のルールの更新を

将来の夢よりも、1年後のなりたい自分が生徒によっては分かりやすいと感じた。



話合いのまとめ

未来へのスケッチ → 学年のルール共通の目標ができた！

教師の過不足ない仲介により話し合い活動が充実した

今後、学習の積み重ね、発展性が期待できる

未来へのスケッチ

アイディア 意見

キーワード

まとめ

成功体験と自信

実践を通して学びを実感

成功体験の積み重ね

担任以外の視点

担当間での生徒の目指す姿、課題の共有。生徒が目標を意識する環境



日常的に手帳の活用

他教科での姿からもリンクして課題のつながりよい

担当間の情報共有

実習の振り返りを未来へのスケッチに担任、教科担当と共有

職業から学びを深め、広げていく

学びの蓄積

先輩の体験談を聞く、体験するなど課題解決につなげる工夫を継続してほしい

3年生、卒業生のお話を

先輩の経験から学ぶ

高3の経験談を聞くこんなことに気づいたとかこんなことが学べたとか

学びの足跡引継ぎ

行事や活動の振り返りの蓄積を

外部講師、先輩の積極的な利用

専門的な知識

児童に合わせた様子

<来年度に向けて>

「未来へのスケッチ」を授業づくりに活用しようとそれぞれの学部が工夫をしてきました。子どもの思いや願いを大切にすることで、子どもたちが主体的に楽しく学ぼうとする姿、もっとやりたいという前向きな姿につながったと考えます。また、教師も、子どもと一緒に授業を作り上げる、子どもの意見を踏まえて授業を展開するなど意識が少しずつ変わってきたように思います。学校の教育資料と「未来へのスケッチ」がリンクできるよう、今年度の改善点を踏まえて来年度につなげていきたいです。

